

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	5	5	教育統計調査費	110

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	教育統計調査
事業目的	学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に実施する。
事業内容	●主な事業内容 学校基本調査の事務に係る必要経費。 - 調査事項 学級数、在学者数、教職員数、学校施設、不就学学齢児童生徒、卒業後の状況 - 調査期日 5月1日現在 ●主な予算の内訳 ・消耗品費：11千円 ・財源は、学校基本調査県委託金
事業の目標	学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育統計調査	11	11	0	0	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	11	11	0	0	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	1	教育委員会費	242

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	教育委員会
事業目的	教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る。
事業内容	●主な事業内容 ・教育長、教育委員6名による教育委員会会議の開催。 ・市内小中学校の学校訪問を始めとする教育施設の訪問。 ・教育委員の報酬、交際費等。 ●主な予算の内訳 ・委員報酬：2,952千円
事業の目標	定例教育委員会などの開催を通じて、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育委員会	3,192	0	0	0	3,192	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	3,192	0	0	0	3,192	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	242

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	事務局一般管理
事業目的	教育委員会事務局において、小中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	●主な事業内容 ○学校教育一般管理費 ・ 附属機関における委員の報酬、職員旅費、各種協議会等負担金など ・ 市民展（児童生徒の部）、市小学校音楽会を開催するための消耗品等 ○就学時健康診断 ・ 学校保健安全法第11条に基づき、小学校新1年生に対し健康診断を実施する。 ○学校施設整備基金積立金 ・ 基金の運用により生じた利息を基金に積立て、学校の整備費に充てる。 ●主な予算の内訳 ○学校教育一般管理費 ・ 派遣指導主事負担金：11,900千円、協議会等負担金：1,641千円 ○就学時健康診断 ・ 就学時健康診断医師報償金：1,034千円、通信運搬費：130千円 ○学校施設整備基金積立金 ・ 基金積立金：2千円
事業の目標	教育委員会事務局において、小中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。 通学路の安全対策を実施するため、通学路安全対策連絡協議会を開催し、子どもたちが安全に通学できる歩行空間を確保していく。 就学に向けた事業や市小学校音楽会を適切に実施していく。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校教育一般管理	17,412	337	0	0	17,075	98%
就学時健康診断	1,491	0	0	0	1,491	100%
学校施設整備基金積立金	2	0	0	2	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	18,905	337	0	2	18,566	98%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	244

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	教育研究
事業目的	教育研究事業を各学校へ委託することで効率的・効果的に行う。人材や地域性を活かした、地域の宝（人・自然・文化・歴史伝統・産業など）に学ぶ教育活動を推進し、地域への愛着や誇りを育む。
事業内容	●主な事業内容 ○教育研究 ・学びの学校づくり推進事業：特色ある学校づくりの推進、総合的学習時間の研究、地教行法第45条による教職員に対する教育研修事業の充実を、市内全小中学校へ委託する。 ・丹波地方教育事務協議会研究委嘱事業：指定校による教科全領域に係る研究。 ・学びの環境研究事業：校舎改築等による教育環境向上の調査、研究のため指定校へ委託する。 ・特別支援教育推進事業：特別支援教育の指導の充実を図るため犬山市小中学校特別支援学級連絡協議会へ委託。市内小中学校や犬山市民が在籍する各特別支援学校との交流及び連携。 ○授業改善 ・国語・社会・算数・理科・英語において、犬山市の教師が授業改善を進めることで、子どもたちの学ぶ意欲や興味を向上させるとともに、基礎・基本の理解や定着と思考力・判断力・表現力などの育成を図る。 ●主な予算の内訳 ○教育研究 ・教育研究委託料：6,728千円 ○授業改善 ・授業改善委員会委託料：100千円
事業の目標	地域を学び、地域への愛着を引き続き育む。 「学びの学校づくり」に基づいた授業の創造・実践を推進する。 学校・家庭・地域の連携や関係機関との結びつきを強め、協働的な教育活動の展開に取り組む。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育研究	7,108	200	0	6,908	0	0%
授業改善	100	0	0	0	100	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	7,208	200	0	6,908	100	1%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	244

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	私立学校等助成
事業目的	保護者の負担を軽減し、公私間の格差是正のため私立学校等に通学する世帯へ助成を行う。 義務教育期間において、小学1・2・6年生、中学3年生、第3子以降にかかる学校給食費を無料化し、子育て支援を推進するため、私立学校等に通学する世帯、アレルギー対応で弁当等を持参する世帯へ助成を行う。
事業内容	●主な事業内容 ○私立高校生授業料補助金 私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して授業料の補助を行うことで、公私立学校間における保護者負担の格差是正を図り、教育の機会均等の確保に寄与する。 ○学校給食費補助金 市内在住で給食の提供がある市外の小中学校に通う小学1・2・6年生、中学3年生、第3子以降の児童生徒の給食費の補助を行うことで、経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の推進に寄与する。また、市内小中学校も含め食物アレルギー等により給食が食べられず弁当等を持参する児童生徒は、給食費相当額を補助金として支給し、同様に負担軽減を図る。 ●主な予算の内訳 ・私立高校生授業料補助金：4,100千円 ・学校給食費補助金：2,737千円
事業の目標	保護者の負担を軽減し、公私間の格差是正のため助成を行い、教育振興を図る。 給食費相当額を補助金として支給し、保護者の経済的な負担の軽減を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
私立学校等助成	6,861	0	0	0	6,861	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	6,861	0	0	0	6,861	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	244

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	学校間ネットワーク
事業目的	犬山の学校教育の基本理念である「学びの学校づくり」に資するシステムとして、構築を図り運用する。 児童生徒1人1台の端末を整備し、GIGAスクール構想に沿って、教員の負担軽減を図り、新たな教育スタイルを確立する。
事業内容	●主な事業内容 ○学校間ネットワーク包括的業務委託 ・機器導入、システム構築、保守、運営支援の包括的業務を令和5年3月に契約更新を行った。 ・更新後の月額：8,240,850円×1.1 ○ネットワーク機器借上料 ・校務支援パソコン機器借上契約について令和7年1月に契約更新を行った。 - R7.1.1～R11.12.31 月額670,400円×1.1 ・GIGAスクール児童生徒用端末借上契約はR3.3.1～R8.2.28のため、令和8年3月に更新となる。愛知県での共同調達により事業者を決める。国の補助金（55,000円／台 補助率2／3）は事業者が受けることとなり、差し引いた金額でのリース契約を予定している。 ●主な予算の内訳 ・学校間ネットワーク運営委託料：147,469千円 ・ネットワーク機器借上料：80,348千円 ・消耗品費（トナーなど）：5,956千円 ・専用回線使用料：3,839千円 ●その他 平成23年9月にシステムの適正化と大幅なコストダウンを図るため、機器の導入からシステム再構築、保守・運用、運営支援を請け負う業務に変更し、庁内ネットワークと合わせた包括的業務契約を締結。新しく令和5年3月からの包括的業務委託を締結した。
事業の目標	整備を進めてきた1人1台の学習用情報端末、学級単位の大型掲示装置を活用して、わかりやすく楽しい授業づくりを進めるためのソフト対策を進め、ICTを活用した学びを展開していく。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校間ネットワーク運用管理	241,219	0	0	0	241,219	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	241,219	0	0	0	241,219	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	2	事務局費	246

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	教育支援センター
事業目的	学校生活への対応が困難な市内在住の小・中学校の児童生徒に対し、再び学校集団へ戻る適応力を身につけることや、これまでの既成概念に捉われず、学校復帰ではなく社会的自立をゴールに見据え、子どもが自己肯定感を高めたり、自分に合った目標を見つけたりすることを支援していく。
事業内容	●主な事業内容 ○教育支援センター「ゆうゆう」の運営（学校復帰への支援） ・不登校児童生徒の相談（進路相談、学習支援、集団生活への適応）を実施する。 ・学校復帰に向けた学びを支援する。 ・家庭及び学校、関係機関との連携を図る。 ○教育支援センター「わいわい」の運営（社会的自立への支援） ・一人一人が自由で安心できる空間をつくり、自分自身と向き合えるようにする。 ・体験的な活動を提案して、好きなことや得意なことを引き出し、自分自身の強みの気づきや、自信がもてるよう促す。 ・地域人材を活用し、人と出会う機会を設けて、様々な生き方に触れることで、自ら目標を見出し、未来に希望をもって歩み出せるよう導く。 ・令和7年9月からは旧訪問看護ステーションの建物で「わいわい」を運営する。 ●主な予算の内訳 ・教育支援センター指導補助員謝礼：180千円 ・消耗品費：195千円 ・わいわい運営に係る光熱費：366千円 ・新教育支援センター内装改修工事請負費：2,557千円
事業の目標	学校生活を送ることが困難な状況にある児童生徒の居場所として、困っている児童生徒を受け入れ、学校や関係機関と連携しながら学校復帰や社会的自立に向けた支援をする。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
教育支援センター	3,882	0	0	3,882	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	3,882	0	0	3,882	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	1	3	学校保健予防費	248

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	学校保健予防
事業目的	小中学校における児童、生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。
事業内容	●主な事業内容 ○教職員健康診断 - 学校保健安全法第15条に基づき学校教職員の健康診断を実施。施行規則第13条に基づき、尿検査ほか9項目について検査を実施する。 - 養護教諭等に対してB型肝炎抗原抗体検査を実施。陰性の者は医療機関にて予防接種を実施。 ○児童生徒健康診断 - 学校保健安全法第13条に基づき、児童生徒の健康診断を実施。施行規則第6条に基づき、学校医による内科検診のほか3項目、委託業者による尿検査ほか、該当する児童生徒には心電図検査、血液検査を実施する。血液検査は生徒の生活習慣病予防の観点から実施。 - 結核健診の結果に基づき開催される結核対策検討委員会（事務局：江南市）の指導により要精検者がいる場合は、胸部X線直接撮影を実施する。 ○教職員ストレスチェック - 労働安全衛生法に基づき、市内小中学校に勤務する学校教職員に対しストレスチェックを実施し、心の健康に努める。 ●主な予算の内訳 - 教職員健康診断委託料：3,472千円 - 児童生徒健康診断委託料：2,289千円
事業の目標	児童生徒や教職員の健康診断等を実施することで、感染症予防や早期に病気を発見し対応すると共に、健康の保持増進を図り快適な学校生活となるよう必要な支援を行っていく。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
学校保健予防	6,416	0	0	0	6,416	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	6,416	0	0	0	6,416	100%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	1	学校管理費	248

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校一般管理
事業目的	小学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	●主な事業内容 ○小学校管理 ・市内にある10小学校を管理運営していくための業務。 ・学校保健安全法第23条に基づき学校医等を配置し、健康診断等を実施する。 ・学校設備や環境整備に関する委託をはじめ、消耗品や光熱水費等の管理運営を行う。特に電気設備、消防設備、浄化槽、プールろ過機等の専門的な技師による管理は専門業者に委託する。 ・医療的ケアが日常的に必要な児童のため、看護師を小学校に派遣する。 ○小学校給食 ・学校給食法、学校給食衛生管理基準（文科省）に基づき、児童の心身の発達に資する学校給食を市内全校において単独調理場方式で実施する。 ・適切な食育のため、県費負担の栄養教諭の配置がない学校に、市採用の栄養職員を配置する。 ・調理業務は委託を行い、調理機器は学校設置者である市が購入、リース契約をして整備する。 ・給食費は、材料費の価格高騰の影響を受け、令和6年度に320円に改定した。 ・R4.4月から第3子以降、R5.9月から小学6年生、R6.4月から小学1年生、さらにR7.4月から小学2年生の給食費を無料とする。 ●主な予算の内訳 ○小学校管理 ・光熱水費：79,340千円 ・施設管理委託料：44,332千円 ・報償金：27,663千円 ・看護師派遣事業委託料：5,390千円（国庫補助金 1,796千円） ○小学校給食 ・賄材料費：216,112千円 ・学校給食調理業務委託料：192,970千円
事業の目標	・学校からの要望を把握、確認しつつ、適切に小学校を管理運営していく。 ・小学校給食は、調理業務の民間委託を継続し、民間のノウハウと各校の食育活動と連携した魅力ある給食の提供を進める。また、単年度に要する費用の偏りや調理業務の支障が起きないように、調理機器の計画的な更新を進める。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校管理	188,450	1,796	0	2,966	183,688	97%
小学校給食	435,139	0	0	104,224	330,915	76%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	623,589	1,796	0	107,190	514,603	83%

令和 7 年度 予算説明書

予算			目名	予算書 (P)
款	項	目		
9	2	1	学校管理費	252

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I : 事業概要

施策事業名	小学校施設営繕
事業目的	老朽化している学校施設の多機能化の観点も踏まえつつ、児童の安全確保、学びの環境づくりのための施設営繕を行う。
事業内容	●主な事業内容 ・市内の小学校では、昭和 3 0 年代に建築された建物が 3 棟、4 0 年代が 6 棟、5 0 年代が 9 棟あり、建築から 3 0 年を経過した建物が 3 分の 2 を占め、老朽化が著しい状況である。また、付属する電気設備、通信設備、給排水設備、消防設備などについても不具合が生じているため、学校要望を踏まえながら、緊急性等優先順位をつけ適宜施設営繕を行う。 ・また、特に実施すべき工事として、老朽化により不具合が生じている施設設備の更新を実施し、施設の適正な管理及び教育環境の整備、児童の安全確保のため、施設営繕を行う。 ●主な予算の内訳 ・羽黒小学校LED化改修工事請負費：27,513千円 ・羽黒小学校非構造部材改修工事請負費：17,975千円（国庫補助金 5,991千円） ・犬山西小学校体育館屋根防水工事請負費：22,033千円 ・空調設備更新工事請負費（池野、栗栖、城東）：18,462千円（国庫補助金 5,555千円） ・営繕工事請負費：30,000千円
事業の目標	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、教育環境に支障をきたす設備故障、老朽化に伴い対応が必要な箇所について、優先順位を決定し、工事施工に努める。

II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校施設営繕	120,475	11,801	65,800	0	42,874	36%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	120,475	11,801	65,800	0	42,874	36%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	2	教育振興費	254

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校教育振興
事業目的	児童や教師が授業で使用する副読本（資料集等）や備品を購入することで、授業の充実を図る。
事業内容	●主な事業内容 ・教師用教科書、教師用指導書、副読本購入費 校長会の要望に基づき、授業で使用する教師用教科書、副読本等の教材を購入。4月授業開始前に購入し、転入生があれば追加購入する。 ・副読本は児童数分もしくは1クラス分、教師用教科書は教科担任分、指導書は学校に1冊ずつ購入する。 ・教材備品購入費 授業で使用する教材備品を購入。必要な教材備品（修理不可能で購入が必要なもの、所有していないもの）を調査、検討して購入している。理科教材は国庫補助（率1/2）を充当する。 ●主な予算の内訳 ・図書購入費：5,000千円 ・消耗品費及び教材備品購入費：4,588千円
事業の目標	小学校の教師用教科書、指導書、教材備品を購入する。 子ども読書活動の一環として、子どもたちに本をより身近に感じてもらう仕組みを継続していく。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校教材等整備	12,828	595	0	0	12,233	95%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	12,828	595	0	0	12,233	95%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	2	教育振興費	254

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	小学校就学援助
事業目的	経済的な理由により小学校の就学が困難な児童の保護者に対し学用品など就学上必要な経費を援助する。
事業内容	●主な事業内容 ○要・準要保護児童援助費 - 生活保護世帯（要保護）やそれに準ずる程度に困窮している世帯（準要保護）に対し、就学費用の一部を援助する。 - 援助額は5月に通知される国庫補助限度額に基づき決定する。 - 支給費目は、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費等、学校給食費、PTA会費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費がある。 - 支給は年8回に分けて行う。 ○特別支援教育就学奨励費 - 障害のある児童の保護者に対し就学費用の一部（就学援助の半額程度）の奨励費を支給する。 - 支給費目及び支給額は、国の基準に準ずる。 - 支給費目は、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品費、学校給食費、拡大教材費、校外活動費、修学旅行費、交流及び共同学習に要する交通費、オンライン学習通信費、通学に要する交通費、体育実技用具費がある。 - 通学に要する交通費、体育実技用具費は令和6年10月から支給費目を拡充した。 - 支給は年2回に分けて行う。 ●主な予算の内訳 要・準要保護児童援助費：15,188千円 特別支援教育就学奨励費：3,177千円
事業の目標	経済的に困窮している家庭に援助費を支給し、小学生の就学を支援していく。 また特別支援教育就学奨励費について、身体や知的に重度の障害がある児童の保護者に対して、学校教育法施行令第22条の3に規定に基づく具体的な判断基準により、申請を促していく。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
小学校就学援助	18,365	1,599	0	0	16,766	91%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	18,365	1,599	0	0	16,766	91%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	2	3	学校整備費	254

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	犬山南小学校整備
事業目的	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、犬山市立犬山南小学校の南校舎・北校舎等の整備を行い、教育環境の充実を図る。
事業内容	●全体計画 - 令和5年度 ・新校舎建設(給食室、地域住民が利用できる多目的スペースを整備)、供用開始。 - 令和5年度～令和7年度 ・南舎長寿命化改良工事（西側一部解体、内部改修、エレベーター棟整備） ・令和7年度までの継続費を計上（工事費、工事監理費） - 令和7年度 ・北側道路整備工事 - 令和8年度 ・グラウンド整備、仮設進入路撤去、外構整備 ●主な事業内容 ・南舎長寿命化改良工事で行う外構工事に併せて、北側道路の整備を行う。 ・南舎長寿命化改良工事の工期短縮のため、仮設校舎を継続して借上する。 ●主な予算の内訳 ・工事監理委託料：18,359千円 ・北側道路改良工事請負費：35,228千円 ・仮設校舎借上料：7,787千円 ・物品購入（消耗品費、備品購入費）：6,023千円 ・検査手数料：200千円
事業の目標	・授業を行いながら工事を進めるため、工事業者と学校とスケジュール調整を随時行い、学習環境の確保に努める。 ・南校舎長寿命化改良工事や道路整備工事を行うため、近隣住民への周知及び安全確保を徹底する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山南小学校整備	67,597	0	45,400	0	22,197	33%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	67,597	0	45,400	0	22,197	33%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	1	学校管理費	254

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校一般管理
事業目的	中学校を管理運営していく上で必要な事業を行う。
事業内容	●主な事業内容 ○中学校管理 ・市内にある4中学校を管理運営していくための業務。 ・学校保健安全法第23条に基づき学校医等を配置し、健康診断等を実施する。 ・学校設備や環境整備に関する委託をはじめ、消耗品や光熱水費等の管理運営を行う。特に電気設備、消防設備、浄化槽、プールろ過機等の専門的な技師による管理は専門業者に委託する。 ○中学校給食 ・学校給食法、学校給食衛生管理基準（文科省）に基づき、児童の心身の発達に資する学校給食を市内全校において単独調理場方式で実施する。 ・適切な食育のため、県費負担の栄養教諭の配置がない学校に、市採用の栄養職員を配置する。 ・調理業務は委託を行い、調理機器は学校設置者である市が購入、リース契約をして整備する。 ・給食費は、材料費の価格高騰の影響を受け、令和6年度に380円に改定した。 ・R4.4月から第3子以降、R5.9月から中学3年生の給食費を無料とした。 ●主な予算の内訳 ○中学校管理 ・光熱水費：44,862千円 ・施設管理委託料：18,244千円 ・報償金：14,370千円 ○中学校給食 ・賄材料費：137,553千円 ・学校給食調理業務委託料：93,548千円
事業の目標	・学校からの要望を把握、確認しつつ、適切に中学校を管理運営していく。 ・中学校給食は、調理業務の民間委託を継続し、民間のノウハウと各校の食育活動と連携した魅力ある給食の提供を進める。また、単年度に要する費用の偏りや調理業務の支障が起きないように、調理機器の計画的な更新を進める。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校管理	100,334	0	0	823	99,511	99%
中学校給食	245,155	0	0	82,781	162,374	66%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	345,489	0	0	83,604	261,885	76%

令和 7 年度 予算説明書

予算			目名	予算書 (P)
款	項	目		
9	3	1	学校管理費	258

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I : 事業概要

施策事業名	中学校施設営繕
事業目的	老朽化している学校施設の多機能化の観点も踏まえつつ、生徒の安全確保、学びの環境づくりのための施設営繕を行う。
事業内容	●主な事業内容 ・市内の中学校では、昭和 3 0 年代に建築された建物が 2 棟、4 0 年代が 3 棟、5 0 年代が 4 棟あり、建築から 3 0 年を経過した建物が 9 割を占め、老朽化が著しい状況であり。また、付属する電気設備、通信設備、給排水設備、消防設備などについても不具合が生じているため、学校要望を踏まえながら緊急性等優先順位をつけ適宜施設営繕を行う。 ・また、特に実施すべき工事として、老朽化により不具合が生じている施設設備の更新を実施し、施設の適正な管理及び教育環境の整備、生徒の安全確保のため、施設営繕を行う。 ●主な予算の内訳 ・南部中学校多目的トイレ設置工事請負費：9,264 千円（国庫補助金 3,087 千円） ・南部中学校体育館多目的トイレ設置工事請負費：8,912 千円（国庫補助金 2,970 千円） ・南部中学校スロープ設置工事請負費：1,079 千円（国庫補助金 359 千円） ・空調設備更新工事請負費（犬山中）：13,542 千円（国庫補助金 4,238 千円） ・営繕工事請負費：18,000 千円
事業の目標	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、教育環境に支障をきたす設備故障、老朽化に伴い対応が必要な箇所について、優先順位を決定し、工事施工に努める。

II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校施設営繕	50,797	10,654	19,700	0	20,443	40%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	50,797	10,654	19,700	0	20,443	40%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	260

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校教育振興
事業目的	生徒や教師が授業で使用する副読本（資料集等）や備品を購入することで、授業の充実を図り、中学校の部活動の振興を図る。
事業内容	●主な事業内容 ○中学校教材等整備 ・教師用教科書、教師用指導書、副読本購入費 校長会の要望に基づき、授業で使用する教師用教科書、副読本等の教材を購入。4月授業開始前に購入し、転入生があれば追加購入する。 ・教材備品購入費 授業で使用する教材備品を購入。必要な教材備品（修理不可能で購入が必要なもの、所有していないもの）を調査、検討して購入している。理科教材は国庫補助（率1/2）を充当する。 ・吹奏楽用楽器購入費 吹奏楽で必要な楽器を購入。 ○中学校生徒指導 ・中学校3年生に対する進学指導及び就職指導実施のため、各中学校における進路指導に係る情報の収集、整理及び生徒の進路相談等に関する業務を委託する。 ○中学校部活動 ・部活動補助金（中学校吹奏楽活動振興補助金） ・生徒派遣交通費 ●主な予算の内訳 ○中学校教材等整備 ・図書購入費：1,500千円 ・消耗品費及び教材備品購入費：5,952千円 ○中学校生徒指導 ・進路指導委託料（4校分）：424千円 ○中学校部活動 ・部活動指導者謝礼（22名分）：4,400千円 ・自動車借上料：1,848千円
事業の目標	教師用教科書、指導書、教材備品を整備すると共に子ども読書活動の一環として、図書を整備することにより、中学生の教育振興を進めていく。また、生徒の部活動、進路における支援を行う。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校教材等整備	8,952	620	0	0	8,332	93%
中学校生徒指導	624	0	0	0	624	100%
中学校部活動	9,752	0	0	8,697	1,055	11%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	19,328	620	0	8,697	10,011	52%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	260

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	中学校就学援助
事業目的	経済的な理由により中学校の就学が困難な生徒の保護者に対し学用品など就学上必要な経費を援助する。
事業内容	●主な事業内容 ○要・準要保護児童援助費 - 生活保護世帯（要保護）やそれに準ずる程度に困窮している世帯（準要保護）に対し、就学費用の一部を援助する。 - 援助額は5月に通知される国庫補助限度額に基づき決定する。 - 支給費目は、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費等、学校給食費、生徒会費、PTA会費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費がある。 - 支給は年8回に分けて行う。 ○特別支援教育就学奨励費 - 障害のある生徒の保護者に対し就学費用の一部（就学援助の半額程度）の奨励費を支給する。 - 支給費目及び支給額は、国の基準に準ずる。 - 支給費目は、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品費、学校給食費、拡大教材費、校外活動費、修学旅行費、交流及び共同学習に要する交通費、オンライン学習通信費、通学に要する交通費、職場実習に要する交通費、体育実技用具費がある。 - 通学に要する交通費、職場実習に要する交通費、体育実技用具費は令和6年10月から支給費目を拡充した。 - 支給は年2回に分けて行う。 ●主な予算の内訳 要・準要保護児童援助費：20,617千円 特別支援教育就学奨励費：2,691千円
事業の目標	経済的に困窮している家庭に援助費を支給し、中学生の就学を支援していく。 特に特別支援教育就学奨励費について、身体や知的に重度の障害がある生徒の保護者に対して、学校教育法施行令第22条の3に基づく具体的な判断基準により、申請を促していく。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中学校就学援助	23,308	1,375	0	0	21,933	94%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	23,308	1,375	0	0	21,933	94%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	2	教育振興費	260

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	岡部・相馬育英奨学
事業目的	第2代犬山市長岡部益衛氏から教育振興を目的にいただいた寄附を元に犬山市岡部育英事業基金を、相馬半治氏、成朗氏より教育振興を目的にいただいた寄附を元に犬山市相馬育英事業基金を設置し奨学金を支給する。
事業内容	●主な事業内容 ○岡部・相馬育英奨学 ・岡部育英事業により犬山市内に在住し、犬山市立中学校に在学し、高等学校に進学をする者に奨学金を支給し、学びを支援する。 ・相馬育英事業により犬山市内に在住し、犬山市立中学校に在学し、高等学校に進学をする者に奨学金を支給し、学びを支援する。 ○岡部・相馬育英事業基金積立金 ・基金の運用により生じた利息を基金に積立て、奨学金の支給に充てる。 ●主な予算の内訳 ・岡部育英奨学金：50,000円×2名＝100千円 ・相馬育英奨学金：50,000円×6名＝300千円
事業の目標	寄附により設置した犬山市岡部育英事業基金、犬山市相馬育英事業基金を財源に、意欲ある生徒に奨学金を支給し、義務教育後の学びを支援する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
岡部・相馬育英奨学	400	0	0	400	0	0%
岡部・相馬育英事業基金積立金	28	0	0	28	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	428	0	0	428	0	0%

令和7年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	3	3	学校整備費	262

部局名	教育部
課 名	学校教育課

I：事業概要

施策事業名	城東中学校整備
事業目的	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づいた学校施設の整備。犬山市立城東中学校の整備を行い、教育環境の充実を図る。
事業内容	●全体計画 令和6年度 基本構想策定、基本設計業務業者選定プロポーザル審査 令和7年度 基本設計業務、地質調査 令和8年度 実施設計業務 令和9年度 工事施工（中学校整備完了 令和12年度予定） ●主な事業内容 城東中学校の施設の基本設計を実施する。 ●主な予算の内訳 城東中学校整備基本設計委託料：41,371千円 ●工事に対する補助金 学校施設環境改善交付金（危険改築、長寿命化改良） 補助率1/3
事業の目標	令和6年度に策定した基本構想をもとに、城東中学校の基本設計を実施し、工事の全体計画、概算費用、スケジュールを把握する。基本設計では、学校関係者や教員等によるワークショップを開催し、整備に関する要望事項を確認し、設計図書に反映する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
城東中学校整備	41,371	0	0	41,371	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	41,371	0	0	41,371	0	0%